

Generis
ゲネリス

笠井叡プロデュースによるダンス空間ゲネリス 第三回新作公演

笠井叡

◎構成・演出・振付
◎オイリュトミー

笠井禮示

原仁美

寺崎礁

尾崎行輝

尾崎梓

定方まこと

鯨井謙太郎

野口泉

浅見裕子

上村なおか

笠井叡

オイリュトミー

蝶たのしみの冠

Die Schmetterlingskorona



2013 9.19 [木] 19:30 開演

20 [金] 19:30 開演
開場は開演の30分前

◎会場=国分寺市立 いずみホール
東京都国分寺市泉町3-36-12 Tel.042-323-1491 JR西国分寺駅下車南口駅前

Die Schmetterlingskrona

ルドルフ・シュタイナー(1861年~1925年)は晩年に、さまざまな色彩を伴う黒板絵と共に、多くのイマジネーションに富んだ言葉群を遺した。

それらは「遺された黒板絵」として、日本では筑摩書房より出版される。それらの言葉群より20数点を選び出し、オイリュトミー作品として、動き、音楽、朗読、照明等を融合した総合的な舞台作品として、上演する。

ピアノ演奏 上田早智子

チェロ演奏 山崎明子

●

照明 丸山武彦

舞台監督 桑原敏郎

衣装 萩野 緑

音響 角田寛生

宣伝美術 井原靖章

テキスト 筑摩書房「遺された黒板絵」(高橋巖訳)より

制作 笠井久子

主催 天使館

助成 芸術文化振興基金

アーツカウンシル東京

(公益財団法人東京都歴史文化財団)

ARTS
COUNCIL
TOKYO



●料金 全席自由 前売 3,000円/当日 3,500円

●予約・問い合わせ 天使館 Tel/Fax 042-316-3508 Eメール info@akirakasai.com

●チケット発売開始 2013年7月12日[金]

●チケットお取扱い

☆「天使館オンラインチケットサービス」

パソコン用予約フォームのアドレス:

<http://www.confetti-web.com/ticket/ticket.aspx?tid=118016>

携帯用予約フォームのアドレス: <http://cnfti.com/met7334/>

*予約後すぐに、お近くのセブン-イレブンでチケットを受け取れます。

*代金はチケット受け取りの際にセブン-イレブンでお支払いいただけます。

☆ Confetti (カンフェティ) …… 観劇ポータルサイト

WEB予約 <http://confetti-web.com/>

電話予約 カンフェティチケットセンター 0120-240-540 (受付時間 平日10:00~18:00)

人は鯉呼吸をする

カラダと言葉は、その創成に向けて時間を遡るならば、全くひとつに結合している。「人」という言葉はこの「ひとつ」に由来している。それは、約10ヶ月間の胎生のときの「人」である。胎児のカラダは、内臓も筋肉も脳も、すべて宇宙言語で編み上げられている。人は言葉を後から憶えたのではなく、始めに携えて誕生したのである。

胎児の呼吸は肺呼吸ではなく、鯉呼吸である。なせなら胎児は言葉を呼吸によって外に吐き出すのではなく、言葉が肉となる「受肉」の過程を生きているからである。この胎生期がなければ、人は誕生後に自分の属する民族の言葉を、獲得することは出来ないであろう。

繊細で注意深く、忍耐を持ってカラダの内と外に沈潜して行くならば、人はついには言葉を語るカラダではなく、言葉そのものを鯉呼吸するカラダに目覚めるだろう。



【オイリュトミー】

ドイツの神秘思想家シュタイナーの舞踊表現法。古代ギリシアの律動的調和を意味した eurythmia という言葉に由来する。リズムや音に対して身体的に反応し、行動することによって感覚機能を高め、さらに頭脳と身体との連絡を密にし、一体となって反応する力を高めるといふもの。言葉を発するときには、一つ一つの母音で魂を、子音で自然を表現し、また音程と和音によって内界と外界を媒介させながら、それらを身体で芸術的に造形する。これは、彼自身ハイゼル近郊ドルナツハに建てたゲーテアナムで「神の理論」によって、彼自身ハイゼル近郊ドルナツハに建てた総合芸術教育と秘劇」を上演した。動き、音楽、言語が三位一体となった総合芸術教育として、日本でも、一九九一年笠井敏によって「オイリュトミー・シュレ天使」が東京都国分寺市に開設された。（ブリタニカ国際百科事典「より」）

星々の輝きは、地球への愛の表現

蝶たちのコロンは、死者たちの魂に、地上へ降りるようにと呼びかける。太始に人間がある。

意識とは、塩成分によって反射された、魂の自己体験

血液の中に、幾何学がある。

宇宙言語を語る人体

人間が、皮膚の内部に閉じ込められているというのは、最大の錯覚

人類は、神々のもう一つの眼

宇宙の縮小された姿である、人間

私たちは、水晶を見ているつもりで、実は神々を見ている。



現代舞踊の水面に

音もなく

水紋のごとく

広がり

岸辺の無い波打ち際に

人のカラダを

想定している

オイリュトミー

光 コトバ 熱 カラダ 音楽 空気と

四大霊との戦い

講演会

社会 自然 身体

◎時 2013年 9月10日[火]・11日[水]・12日[木] 午後7:30-9:30
◎場所 国分寺市立 いずみホール
◎予約・問い合わせ 天使館 Tel/Fax 042-316-3508 Eメール info@akirakasai.com
◎料金 2,500円

講師
笠井 叡 9月10日[火] | 「皮膚の外に広がる身体」
志村ふくみ 9月11日[水] | 「復活する自然」
高橋 巖 9月12日[木] | 「いま、社会はどのように変容するのか」

彫刻作品はモノとして、彫刻家の前に立つ。
絵画もひとつのタブローとして、画家の前に置かれる。
しかし、どれほど彫刻家や画家がその作品の中に全創造力を流してもうとも、その身体だけは、作品の中に入り込むことはできない。
これを「不完全な創造行為」というならば、
神々の自然創造は自然という作品の中に、自己の全存在を流し込んだので、もはや自然の外には、何も残らなかった。
このことを「完全な創造行為」と言うならば、
神は自然の中に自己を封印した。
水晶や瑪瑙や鉄 バラ、麦、鳥、獣、
そして人の中に、神々は封印されている。
そして人だけが、この封印された自然から、
再び、神々を解き放つだろう。
だから神々は、自然の中に自己を封印したとき、
ひとつの賭けをした。
人が全ったき自由意志から、この封印を解くであろうことを。
この裏返しにされた大自然界から
黒い馬 赤い馬 青ざめた馬が
飛び出すだろう。
限りなく、大自然界に負債を背負った人間は
宇宙の天秤の上に、立たされるだろう。
この時カラダ、自然、社会、地球との
新しい出会いが始まるだろう。

Profile

高橋 巖 Iwao TAKAHASHI | 美学者・日本人智学協会代表

1928年東京代々木に生まれる。1956年慶應義塾大学博士課程修了。
1973年慶應義塾大学文学部教授退職。以後、美学及び神秘学の研究と著述に専念。
1985年日本人智学協会を設立。
著書に「ヨーロッパの闇と光」(イザラ書房)、「若きシュタイナーとその時代」(平河出版社)、「神秘学講義」(角川選書)。
訳書にルドルフ・シュタイナー著「アカシャ年代記より」(国書刊行会)他、著訳書多数。現在、日本各地で講演、講座を行っている。

志村ふくみ Fukumi SHIMURA | 染織家・随筆家

1924年滋賀県生まれ。1955年滋賀県近江八幡に住み、染色の研究を始める。
1964年京都嵯峨に移り住む。1990年重要無形文化財保持者に認定。
1993年文化功労者に選ばれる。著書「一色一生」(求龍堂1983)、「語りかける花」(人文書院1992年日本エッセイスト・クラブ賞受賞)、「母なる色」(求龍堂1999年)、「白夜に紡ぐ」(人文書院2009年)、「晩禱」(人文書院2012年)ほか。

笠井 叡 Akira KASAI | ダンサー・オイリュトミスト・コレオグラファー

1943年三重県生まれ。数多くのソロ舞踏公演を行う。70年代に天使館を主宰し、多くの舞踏家を育成する。
79年から85年ドイツ留学。R・シュタイナーの人間学、オイリュトミーを研究。
94年「セラフィータ・鏡の性器をもつ私の女」で舞台に復帰、その後、大野一雄、大野慶人、木佐貫邦子、伊藤キム、荻野目慶子、高橋悠治等と共演。
ルジマートフ、白河直子、墨田育世等のダンサーへの振付と、国内外で数多くの作品制作と公演を行う。
2012年、大駱駝艦の磨赤兒との初共演作品「ハヤサスラヒメ」を公演する。
第1回、第8回、第44回舞踊批評家協会賞、第1回ダンスワーク舞踊賞、第29回ニムラ舞踊賞、第6回、第7回日本ダンスフォーラム賞受賞。

「蝶たちのコロナ」ワークショップ

パフォーマンスとワークショップは、今回一つに結びついています。ワークショップにおいて、いはば客席にいた方が舞台に、舞台にいた人が客席に下り、「行なう側」が「観る側」に、「観る側」が「行なう側」になり、内と外がひっくり返り、内で体験されたものが、外で体験されるようになります。
テキストは舞台上で演じられるものを、ワークショップに於いてもそのまま用いながら、はじめての方でも充分「動ける」ように工夫されています。
「蝶たちのコロナ」をどうぞ、内側から味わってみてください。

Workshop

◎参加費 一回1,000円/五回5,000円
◎場所 国分寺市立 いずみホール Bスタジオ
◎要予約 天使館 Tel/Fax 042-316-3508 Eメール info@akirakasai.com
◎定員 30名

9月21日[土] 14:30~16:30 太初に熱があった 講師 野口 泉
9月22日[日] 19:00~21:00 すみれ 講師 原 仁美
9月23日[月] 19:00~21:00 結晶 講師 尾崎 梓
9月26日[木] 14:30~16:30 蝶たちのコロナ 講師 浅見裕子
19:00~21:00 神々のもう一つの眼 講師 上村なおか